

サイバーポート(港湾インフラ分野)機能拡張概要

対象港湾の拡大

- 令和5年4月12日に先行10港※を対象に運用開始しています。
- 令和6年3月25日に国際戦略港湾、国際拠点港湾及び重要港湾の全125港に拡大しました。

<GIS上での125港表示>

GIS上での施設位置図、港湾計画図、施設情報の表示例

マーククリックで
港湾名、港湾管理者等を表示

重要港湾	
都道府県名	広島県
市町村名	三原市
港湾名	尾道糸崎港
港格	重要港湾
管理者名	広島県

※10港: 苫小牧港、横浜港、新潟港、清水港、神戸港、和歌山下津港、広島港、高知港、北九州港、下関港

※権限により表示が異なる場合があります。

サイバーポート(港湾インフラ分野)機能拡張概要

ボーリング情報の表示

- 国土地盤情報データベース(一般財団法人国土地盤情報センター)及び国土地盤情報検索サイト「KuniJiban」(国土研究開発法人土木研究所)との連携によりGIS上にボーリング情報を表示できるようになりました。
- 対象の位置をクリックすることで、国土地盤情報データベース及び「KuniJiban」に登録される情報を閲覧できます。

Cyber Port (港湾インフラ分野)

施設簡易検索または住所検索

レイヤーリスト

- 施設位置図
- 港湾計画図
- 区域平面図
- 海しる (海上保安庁) ※1
- 国土地盤情報 (国土地盤情報センター)
- ハザードマップ
- みなとオアシス
- アセットマネジメント

追加

ボーリング

ボーリングID	B4KJ201801000-9718
旧ボーリングID	PORT23001010366
データ提供元	KuniJiban(港湾)
事業工事項	港湾局
調査名	平成12年度名古屋港西4区土質調査報告書平成12年10月
ボーリング名	
発注機関	国土交通省中部地方整備局名古屋港湾空港技術調査事務所
調査会社	
北緯	35.04018553
東経	136.8098375

ズーム

1 / 7

対象をクリックでボーリング情報を閲覧可能

ボーリング

ボーリングID	B4KJ201801000-9718
旧ボーリングID	PORT23001010366
データ提供元	KuniJiban(港湾)
事業工事項	港湾局
調査名	平成12年度名古屋港西4区土質調査報告書平成12年10月
ボーリング名	
発注機関	国土交通省中部地方整備局名古屋港湾空港技術調査事務所
調査会社	
北緯	35.04018553
東経	136.8098375

ズーム

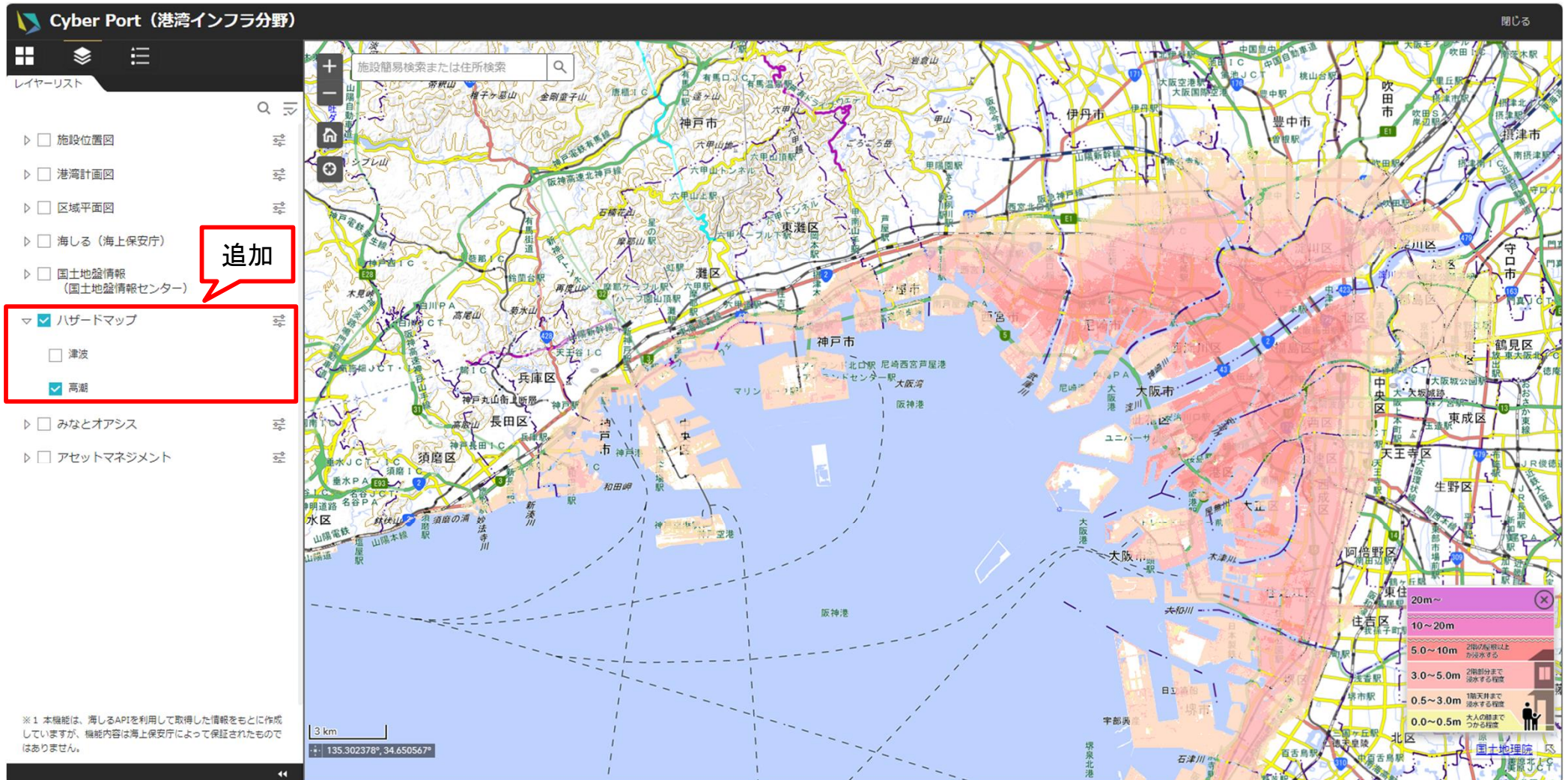
1 / 7

※権限により表示が異なる場合があります。

サイバーポート(港湾インフラ分野)機能拡張概要

ハザードマップの表示

○ハザードマップポータル(国土交通省 水管理・国土保全局、国土地理院)のオープンデータを利用し、GIS上に津波及び高潮による浸水想定を表示できるようになりました。

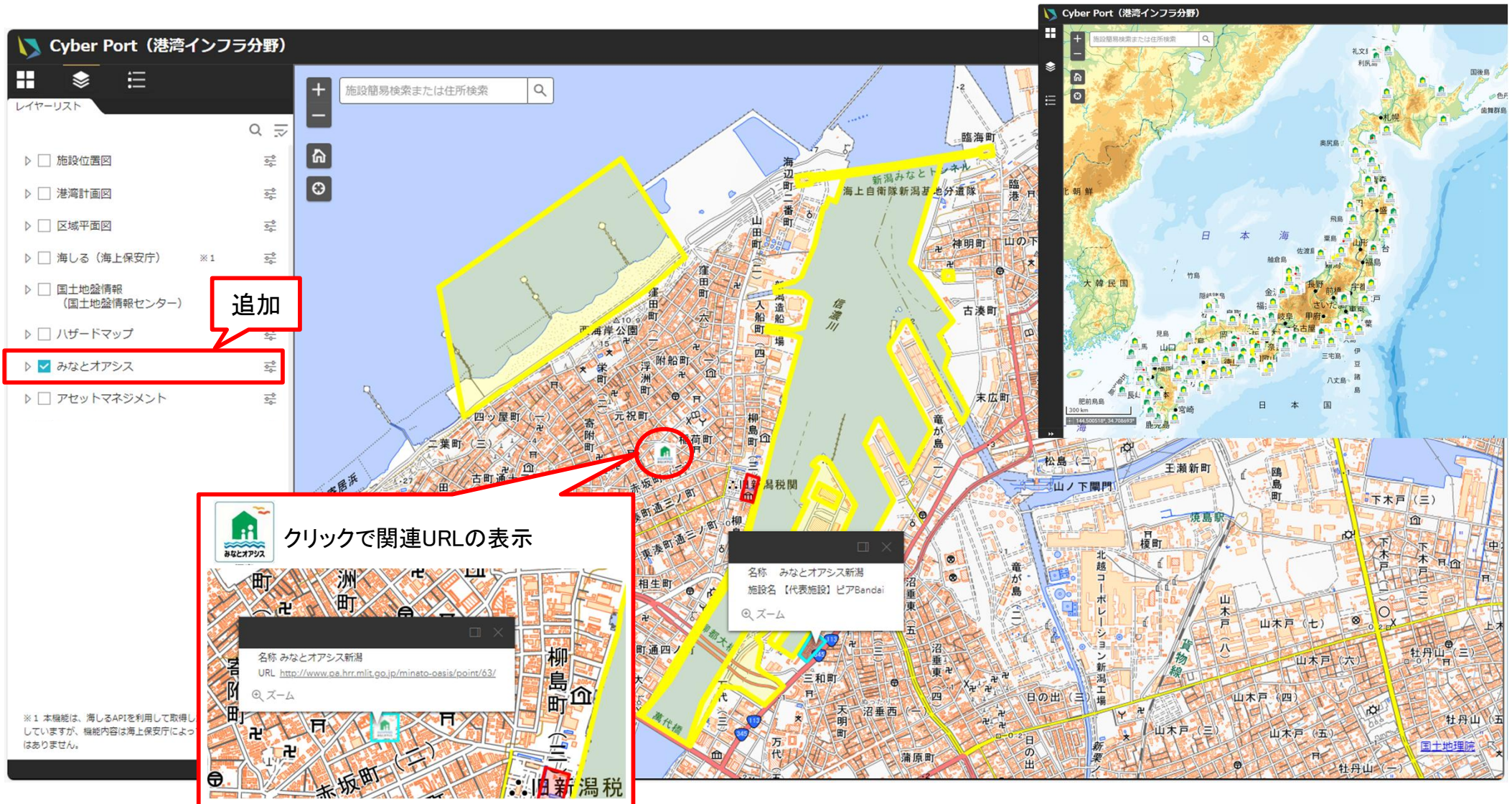


※権限により表示が異なる場合があります。

サイバーポート(港湾インフラ分野)機能拡張概要

みなとオアシスの表示

- GIS上にみなとオアシスの施設情報を表示できるようになりました。代表施設を赤、構成施設を黄色で表示しています。
- シンボルマークをクリックすることで、そのみなとオアシスの情報が掲載されているHPのリンクが表示されます。



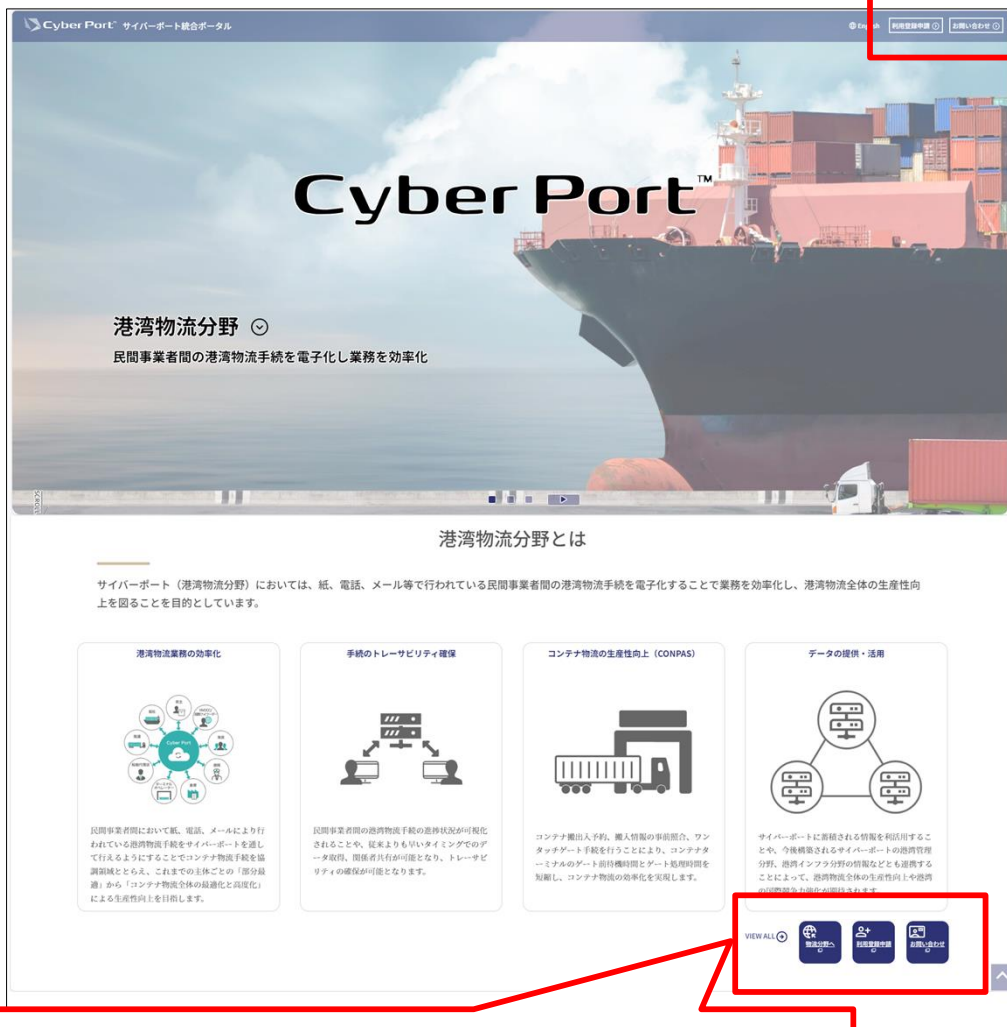
※みなとオアシス: 地域住民の交流や観光の振興を通じた地域の活性化に資する「みなと」を核としたまちづくりを促進するため、住民参加による地域振興の取り組みが継続的に行われる施設として、国土交通省港湾局長が申請に基づき登録するもの。(https://www.mlit.go.jp/kowan/kowan_tk1_000001.html)

※ GIS(地理情報システム): 位置に関する様々な情報を持ったデータを加工/管理したり、地図の作成や高度な分析などを行うシステム技術。

※権限により表示が異なる場合があります。

- サイバーポート3分野(港湾物流分野、港湾管理分野、港湾インフラ分野)の情報を集約した統合ポータルサイトを開設しました。
- 各分野のポータルサイト、利用登録申請及びお問い合わせへ接続が可能です。

サイバーポート統合ポータルサイト: <https://www.cyber-port.mlit.go.jp/>



ここから各分野への
・利用登録申請
・お問い合わせが可能

利用登録申請
お問い合わせ

分野毎の説明にあるリンクから
・ポータルサイト
・利用登録申請
・お問い合わせ が可能



港湾管理分野とは

サイバーポート(港湾管理分野)は、港湾管理者に対する行政手続や港湾調査に係る業務を電子化・標準化し、港湾関係者の業務負荷を軽減し、港湾統計の正確性・迅速性向上やデータに基づく港湾政策立案の実現を図ります。

港湾行政手続(港湾管理者関連手続)の電子化

- 手続の種類/内容の標準化
- 申請作業補助機能の提供
- 蓄積データの政策への活用
- システムで申請を一元管理

調査・統計業務の効率化

従来の調査・統計に係る調査や集計作業は手作業が多く、情報が分散して管理されていた。サイバーポート(調査・統計)を導入することにより、報告用INACCISとのデータ連携によって、INACCISに力を入れた情報が調査へ連携されるとともに、作業の自動化やチェック機能などを活用し、調査関係者の負担軽減を通じた統計情報の収集迅速化と港湾政策等、統計データの幅広い活用を図ります。

港湾インフラ分野とは

サイバーポート(港湾インフラ分野)においては、港湾の計画から整備、維持管理に至るまでの港湾管理者等が保有するインフラ情報を電子化し、一元管理を実現します。

港湾台帳情報等の電子化

港湾台帳情報等の港湾施設の情報を一元的に管理することにより、同一情報の入力を省力化し情報の一貫性や更新性を高めるとともに、漏網での技術支援などにより、実習時の迅速な対応にも寄与します。また、蓄積されたデータを利用することにより、政策の企画立案や民間機関等の促進にも寄与することが期待されます。

効率的・効果的なアセットマネジメント

サイバーポート(港湾インフラ分野)により、計画段階から整備、維持管理、利用の段階に至る港湾及び港湾施設に関する様々な情報を一元的に管理するとともに、データを有効に活用します。サイバーポートの港湾物流分野や港湾管理分野と連携することで、調査の日々の利用状況や需要を把握・分析するとともに、施設の健全度や物流ネットワークの全体効率化等を勘案した、タイムリーな更新投資を目指します。

サイバーポート(港湾インフラ分野)ポータルサイト

○サイバーポート(港湾インフラ分野)のポータルサイトをリニューアルしました。

サイバーポート(港湾インフラ分野)ポータルサイト: <https://www.cyber-port.mlit.go.jp/infra/>

【システム概要】

構築目的、主な実装機能、今後のスケジュールなどを紹介。

【操作説明書】

詳細な操作説明書を掲載。

ユーザ登録済みの方は【ログイン】からサインイン。
ユーザ登録せず利用する場合は【無償版】から利用規約に同意することで利用可能。

ユーザ登録を希望される方は【利用登録申請】から申請。
利用方法等に関する問い合わせは【お問い合わせ】より必須事項を入力し送信。

【お知らせ】

リリースやメンテナンスなどのお知らせを掲載。

【地図画面(GIS)】

GIS画面上で各港湾、各施設の様々なインフラ情報を閲覧可能。

【ダッシュボード】

GIS画面上で表示されている各施設を対象として、任意の条件で集計し、ダッシュボードを表示可能。



【サポート】

よくいただくご質問と回答を「Q&A」として掲載。



※利用者の属性に応じて閲覧できる情報、使用できる機能が異なります。